

2026 年度 事業計画書

1. 刑事司法制度に関する調査及び研究、研究会、講演会、シンポジウムの開催、セミナー、研修等の実施並びに出版その他の情報提供

(1) 刑事司法制度改正に関する調査・研究・情報発信（ヒューマン・ライツ・ウォッチと連携）

2023 年 6 月より公益財団法人ヒューマン・ライツ・ウォッチ（HRW）と進めている「ひとつとじゃないよ！人質司法」プロジェクトを継続する。

① 「ひとつとじゃないよ！人質司法」に関するシンポジウム（人質司法サバイバー国会）開催（HRW と共催）

2026 年度冬から春に、議員会館にて第 4 弾シンポジウム（人質司法サバイバー国会）を開催する。

② クリス事件と「人質司法」の研究会の実施

人質司法問題については、国際的な観点からみたときに日本の刑事司法制度・運用をどのように評価できるかということも、ひとつの重要なポイントとなる。そこで、クリス事件と関連付けながら、比較法的な観点から人質司法問題について考える研究会またはセミナーを冬ころに開催し、論点を抽出・議論する。

(2) 関連する研究会、講演会、シンポジウムの開催

① 神戸質店事件についてのシンポジウムの開催

再審法改正に関する国会および法制審議会における議論を契機として、再審問題やえん罪問題、死刑問題についての社会的関心が高まっているため、神戸質店事件と関連付けて、刑事司法の改革についての講演会またはシンポジウムを秋から冬にかけて開催する。

② 今西事件についての公開講演会の開催

2026 年中に最高裁における検察官による上告の棄却が確定することが見込まれる。その後、事件の振り返りのための一般市民・メディア向けシンポジウムを開催する。

③ その他の事件についての公開講演会

当事者の希望にもよるが、天赦日事件など、他の支援事件についても、再審請求の状況が明らかになるであろう冬ころに公開講演会の開催を目指す。

(3) 司法制度改革に向けた提案活動

- ① 「人質司法」問題について、海外比較などを含めつつ調査・研究を行うとともに、議員へのロビイング活動を行い、立法・行政への働きかけやメディアや市民への情報発信を行う。

・ロビイング活動の継続（2026 年度中）

2. 科学的見地から支援可能な冤罪事件についての調査、相談及び支援

(1) 既支援決定事件についての活動

① 25 海遊館事件

支援弁護士の増員を図り、記録検討等を開始したが目処が立っていない。
本年度早期に再審請求の目途をつける。（6 月まで）

② 328 天赦日事件

IPJ メンバーにより弁護団が形成されており、追加鑑定等を実施した。再審請求に向けて得られた新証拠をもとに再審請求書の準備を行い、年度内早期の再審請求を目指す。

③ 304 神戸質店事件

2025 年に再審請求を行い、一定の証拠開示が得られた。
検察官の書面に対する反論を検討中であり、証拠開示を通じてさらなる新証拠探索・精査すると共に、進行協議期日を通じて、弁護活動を行う。

④ 434 今西事件

IPJ メンバーが弁護団として上告審が係属中であるが、確定はせず、年度をまたぐこととなった。HP からの発信等を通じて、世論喚起に貢献する。

⑤ 459 クリス事件

前年度、東京高裁で一審千葉地裁への差し戻しの判決がでたが、保釈が認められない状況が続いている。最高裁への上告を進めるとともに、万一、差し戻しとなれば、IPJ メンバーが弁護団として無罪判決を目指す。IPJ メンバーによる法廷傍聴や HP 等による情報発信を通じて、無罪判決を目指す。

(2) 新規相談事件の審査活動

① 関東

月1回審査会議を行い、支援しうる事件の増加を企図する。

② 関西

5班体制の中でメンバーの増員を図り、各班に審査事件を割り当て、1～2月に1回の頻度で全体の審査会議を行い、支援可能な事件の増加を企図する。

3. その他の事業活動

(1) 海外のイノセンス団体との連携

① イノセンス・ネットワーク (IN)

・イノセンス・ネットワーク (IN) 大会への人材派遣

2026年4月にシカゴ（アメリカ）で開催されるイノセンス・ネットワーク大会に参加する。2027年3月または4月に開催される大会にも参加する。

・ヨーロッパ

2026年6月にヨーロッパで開催されるえん罪ワークショップに参加し、日本の取り組み状況を報告する。また国連への働きかけについての全世界的議論に参加する。「えん罪を晴らす権利」を国際人権として確立するための国連への働きかけについて、2026年度も継続して議論に参加する（数年かけて実現することを検討中）。

・台湾

引き続き台湾イノセンス・プロジェクトとともに日常的にメール等による情報交換を行う。合同でのアジア・ネットワーク大会の開催を2026年12月5日から6日にかけて、台北にて行う。

・マレーシア

マレーシアでイノセンス・プロジェクトを立ち上げようとしている Rashid Abdul Ismail 氏との連携を継続する。

以 上